

## 痙攣するデジャ・ヴユ

——ビデオで読む小津安二郎——

### ⑬ 小津安二郎作品地名・人名稿（カラー映画編Ⅱ完）

中 澤 千磨夫

#### 凡例

本稿は「痙攣するデジャ・ヴユ——ビデオで読む小津安二郎——⑪小津安二郎作品地名・人名稿（戦後モノクロ映画編）」（『北海道武蔵女子短期大学紀要』39、二〇〇七・三）、「痙攣するデジャ・ヴユ——ビデオで読む小津安二郎——⑫小津安二郎作品地名・人名稿（カラー映画編Ⅰ）」（『北海道武蔵女子短期大学紀要』41、二〇〇九・三）を承けるものである。ここでは『浮草』（一九五九年）、『秋日和』（一九六〇年）、『小早川家の秋』（一九六一年）に登場する地名と人名を見出しとして掲出し、読み方と簡単な注を付したものである。地名についてはすべて、

人名については役名・キャスト名・スタッフ名を除いたすべてを掲出した。ただし、役名については一部掲出したものがある。それはその役名になんらかの意図が見いだされる場合である。また、地名・人名以外の固有名詞（文学作品名・商品名など）、その他で掲出したものがあるが、その掲出基準は必ずしも一定していない。洋酒名やロケ地・セット内の固有名詞には採らなかったものが多い。

テキストとして使用したのは、映画は『浮草』（二〇〇三・一二、角川映画株式会社PCBE—50784）、『小津安二郎DVD—BOX』（二〇〇三・九、松竹株式会社）、『小早川家の秋』（二〇〇四・一、東宝株式会社TDV2764D）、脚本は井上和男編『小津安二郎全集「下」』（二〇〇三・四、新書館）である。

掲出の優先順位は映画内での台詞、映像に映し出されているもの（原則として画面上手から下手、上方から下方の順に掲出）、脚本に出てくるもの（ト書きなどの説明）とした。掲出見出しのうしろに括弧書きで示したのはその順位による。括弧書きがないものは台詞としてのみ出るもの。その場合、脚本に書かれていても特に注記しなかった。「映像」とあるのは、映画から読める情報である。『全集』とのみあるのは、脚本にト書きなどとしてのみ出てくるもの。「台詞」とあるのは、「映像」や『全集』に先んじて登場した場合の映画内での台詞、もしくは「映像」や『全集』の後に出た台詞を指す。「BGM」はBGM、「音楽」、「舞台音楽」は物語内にかかる音楽、「クレジット」はクレジットを「口笛」は口笛を指す。

「痙攣するデジャ・ヴュー——ビデオで読む小津安二郎——①小津安二郎作品地名・人名稿（戦後モノクロ映画編）、「痙攣するデジャ・ヴュー——ビデオで読む小津安二郎——②小津安二郎作品地名・人名稿（カラー映画編I）」に見出しとして掲出したものについては、二面倒でもそちらを参照して下さい。最終的には読める事典として一

本にまとめる予定です。間違い多きことをおそれますが、ご教示をお願いいたします。

## 『浮草』（一九五九年）

波切漁港【なきりぎよこう】（映像） 三重県志摩市大王町波切（映画公開時は三重県志摩郡大王町波切）の漁港。

一九二八年竣工。冒頭、中央やや下手に白い灯台、上手下方に一升瓶を配した浮世絵風空ショットは、小津映像美の典例である。貴田庄『小津安二郎のまなざし』（一九九九・五、晶文社）は『浮草』の真の価値は、この完成された映像美である」といつている。

波切【なきり】（映像） 『東京暮色』の項参照。

伊勢志摩【いせしま】（映像） 伊勢志摩地方の地図。「船着場 待合所」（『全集』）の壁に貼つてある。末尾近く、波矢駅にはポスターが貼つてある。

日清天ぶら油【にっしんでんぶらゆ】（映像） 日清製油（一九〇七年創立。現・日清オイリオグループ）が製造販売していた天ぶら油。「待合所」の台の上に段ボール箱がある。

Burgie【ばあぎい】（映像） 不詳。「船着場 待合所」（『全集』）に青い箱がある。

カラー粒状石鹼【からあつぶじょうせつけん】（映像） 不詳。「船着場 待合所」（『全集』）に箱がある。「カラー」の部分は赤地に白抜き。「粒状石鹼」の部分は青地に白抜き。色物が洗える粒状石鹼か。

相生座【あいおいざ】 嵐駒十郎一座の芝居がかかる劇場。相生橋（『風の中の牝鶏』の項参照）、相生荘（『東京暮色』の項参照）に繋がる。また、広島市の相生橋は、その特徴あるT字型の形状ゆえ原子爆弾投下の目印となった。

日産【につきさん】(映像) 次項参照。「待合所」の壁に「日産の農薬」、「日産化学」のポスターが貼ってある。  
日産化学【につきさんかがく】(映像) 一八八七年創業、一九二二年設立の日本最初の化学肥料製造会社。

東京【とうきょう】(映像) 『長屋紳士録』、『風の中の牝鷄』、『晩春』、『宗方姉妹』、『麦秋』、『お茶漬の味』、『東京物語』、『早春』、『東京暮色』、『彼岸花』、『お早よう』の項参照。「日産の農薬」の左に貼ってあるポスター中の文字。

『大菩薩峠』【だいぼさつとうげ】(映像) ここでは内田吐夢監督『大菩薩峠』(一九五七年、東映)。片岡千恵蔵・中村錦之助・月形龍之介出演。原作は、中里介山が一九一三年から四一年まで書き継いだもの。(中村) 錦之助はのちに吉之助(三井弘次)の台詞に出る(別項)。待合所の壁にサカイ中央の「お盆特別豪華番組」のポスターが貼ってある。

『次郎長富士』【じろちようふじ】(映像) 森一生監督『次郎長富士』(一九五九年、大映)。長谷川一夫・市川雷蔵・京マチ子・若尾文子・山本富士子出演。京マチ子、若尾文子出演作のポスターを使用(あるいは製作)したの  
は意図的な遊び。同右。

『ワンマン今昔物語』【わんまんこんじゃくものがたり】(映像) 近江俊郎監督『ワンマン今昔物語』(一九五九年)。  
由利徹・南利明出演。同右

サカイ中央【さかいちゆうおう】(映像) 『大菩薩峠』、『次郎長富士』、『ワンマン今昔物語』上映館。同右。のち  
に半七(別項)の隣家、小川軒(別項)にも

Cultured Pearls Golden Jubilee【かるちやあどばあるずごおるでんじゅびりい】(映像) 待合所の壁にポス

ターが貼つてある。養殖真珠五十年祭の意であるから、真円真珠養殖の特許が取られた一九〇七年から五十年を記念した一九五七年のポスターと思われる。

**極楽寺**【ごくらくじ】(映像) 不詳。同名の寺は多数ある。待合所の壁に「北向地蔵尊 極楽寺」のポスターが貼つてある。のちに「めし屋「つるや」」(『全集』)の向かいにも同じポスターが。

**伊那**【いな】長野県伊那市。一九五四年四月一日伊那町などの合併で伊那市誕生。

**天龍**【てんりゅう】『全集』は「天竜」。長野県下伊那郡天龍村。一九五六年九月三〇日、平岡村と神原村の合併で誕生。

**岡崎**【おかざき】 愛知県岡崎市。『秋刀魚の味』の項参照。

**刈谷**【かりや】 愛知県刈谷市。一九五〇年四月一日市制施行。徳造(丸山修)の台詞中の嵐駒十郎一座廻り先ののちに加代(若尾文子)の台詞にも。

**知多**【ちた】 愛知県知多郡知多町(一九五五年四月一日知多郡の三町が合併して誕生、七〇年九月一日市制施行で知多市)あるいは知多半島。

**山田の新道**【やまだのしんみち】 三重県伊勢市の商店街。伊勢銀座新道商店街。

**丸橋忠彌**【まるばしちゅうや】 生年不詳、一六五一年没。江戸時代の浪人。酒好きで軽率。長宗我部盛親の子と称し、徳川幕府に恨みを抱く。慶安の変に由比正雪の参謀として参画。幕府転覆を目論むクーデター計画は未遂に終わり、磔刑に処せられた。歌舞伎や講演で広く知られ、映画公開直近の時点でも、中山義秀『丸橋忠彌』(一九五五・一〇、大日本雄弁会講談社)、中沢至夫『丸橋忠弥』(一九五五・一二、鱒書房)が刊行されており、

当時の日本人には馴染みの人物であった。

フジテットタン【ふじてつとたん】(映像) 「待合所」の外に見える瑠璃看板。富士製鉄製のトタン。富士製鉄は、一九五〇年、日本製鉄の解体により発足。一九七〇年、八幡製鉄と合併し、新日本製鉄となり現在に至る。ほかに「電気冷蔵庫」、「冠」の看板も。「冠」は「月桂冠」、「國冠」、「太冠」、「瑞冠」、「白冠」など日本酒である。うか。のちにつるやに向かう駒十郎のショットでも。

ハルシカ【はるしか】(映像) 「待合所」外に見える瑠璃看板。春鹿。一八八四年創業の今西清兵衛商店(奈良県奈良市福智院町二四―一)が製造販売する清酒ブランド名。

三重和具【みえわぐ】(映像) 「連絡船」(『全集』)の救命浮き輪。和具は三重県志摩市志摩町(映画公開時は志摩郡志摩町)の地名。

「忘れちゃいやよ」【わすれちゃいやよ】 渡辺はま子のヒット曲。最上洋・詞／細田義勝・曲、一九三六年。「連絡船」(『全集』)の中で座員たちが「忘れちゃいやよ、忘れないでね」と歌う。

「ボルカ」【ぼるか】(BGM) 斎藤高順作曲。「サセレシア」(『彼岸花』の項参照)の発展形。連絡船が波矢(次項)に入港し、嵐駒十郎一座の幟がはためいている時にかかる。のちに相生座などでも。

波矢【なみや】(『全集』・映像) 物語内架空の町名。脚本に「波矢の町に貼られたビラ」とある。

「南国土佐を後にして」【なんごくときさをあとにして】(音楽) ペギー葉山のヒット曲。武政英策・詞・曲、一九五九年。嵐駒十郎一座の町廻りで演奏される曲。のちに相生座舞台で加代(若尾文子)がペギー葉山(別項)の歌で踊る。元は第四〇師団歩兵第二三六連隊(鯨部隊)の兵士たちの間で歌われていた。戦後、武政英策が

採譜し、軍歌調の詞を改変した。武政の詞と元歌を採録しておく。「南国土佐を後にして／都へ来てから幾歳ぞ／思い出します故郷の友が／門出に歌ったよさこい節を／土佐の高知のはりまや橋で／坊さんかんざし買うをみた。月の浜辺で焚火を囲み／しばしの娯楽のひとつきを／わたしも自慢の声張り上げて／歌うよ土佐のよさこい節を／みませ見せましょ浦戸をあけて／月の名所は桂浜。国の父さん室戸の沖で／鯨釣ったという便り／わたしも負けずにいくさの後で／歌うよ土佐のよさこい節を／言うたしいかんちゃおらんくの池にや／潮吹く魚が泳ぎよる／よさこいよさこい」(元歌)。ごくわずかな改変で戦地で故郷の土佐を思う心情から東京へ出た若者のそれに置き換えたのである。ちなみに、高度経済成長期には上京する日本人の心情が多くの歌謡曲に託された。島倉千代子「東京だヨおっ母さん」(野村俊夫詞／船村徹曲、一九五七年)、井沢八郎「あゝ上野駅」(関口義明詞／荒井英一曲、一九六四年)守屋浩「僕は泣いちっち」(浜口庫之助詞・曲、一九五九年)など。

梅廼家【うめのや】(映像・『全集』)「小料理屋」(『全集』)。  
 半七【はんしち】(映像) 梅廼家の向かいの店。

『女と海賊』【おんなとかいぞく】(映像) 伊藤大輔監督『女と海賊』(一九五九年)。長谷川一夫・京マチ子出演。

京マチ子出演の映画ポスターを使用（もしくは製作）しているのは小粋な遊び。半七の隣家に貼ってある「サカイ中央」（前出）のポスター。

『鞍馬天狗』【くらまてんぐ】（映像）ここではマキノ雅弘監督『鞍馬天狗』（一九五九年）。東千代之助・美空ひばり出演。同前。

キングバー【きんぐばあ】（映像）梅廻家向かいの店の行灯。

いこい【いこい】（映像）梅廻家で吉之助（三井弘次）が吸う煙草。のちに小川軒の店内にもある。一九五六年三月二六日発売。

錦之助【きんのすけ】梅廻家で八重（賀原夏子）に名を問われて吉之助が応える名。中村錦之助（『東京暮色』の項参照）を連想させる。

錦ちゃん【きんちゃん】同前。

小川軒【おがわけん】（映像・『全集』）町内の床屋。小津安二郎は蓼科時代、長野県茅野市にある小川軒の小川敦子に出張散髪を頼んでいた。小川軒は茅野駅前に現存し、敦子さんもお元氣である。

大阪【おおさか】『お茶漬の味』、『早春』の項参照。『彼岸花』にも。

福助足袋【ふくすけたび】（映像）小川軒の窓から見える向かいの瑛瑯看板。福助は一八八二年創業の足袋製造販売業・丸福をルーツとする下着メーカー。『お茶漬の味』の「福助スポーツ靴」の項参照。

道頓堀【どうとんぼり】大阪市中央区の町名。繁華街ミナミの一郭。

角座【かどざ】道頓堀角座。一六五二年から二〇〇七年まで大阪市中央区道頓堀にあった芝居小屋、劇場、映画

館。

SHINSEI【しんせい】(映像) 小川軒で矢太蔵(田中春男)が吸う煙草。末尾波矢駅ですみ子も。一九四九年六月一日発売。ハイライトが発売されるまでいこいととも国民のタバコの位置を占めた。

十全医院【じゅうぜんいいん】(映像) 相生座の前に看板が立っている。長谷川武雄・嘉代氏によれば、かつて東京都江東区深川に同名の医院が実在したという。

『毎日グラフ』【まいにちぐらふ】(映像) 毎日新聞社が発行していたグラフ雑誌。創刊一九四八年。一九九四年、『毎日グラフ・アミューズ』、九九年、『アミューズ』と改題し、二〇〇一年休刊。相生座楽屋に二種類の表紙が貼られている。

ザ・ピーナッツ【ざ・ぴいなっつ】(映像) 昭和戦後の双子女性歌手・女優。前項『毎日グラフ』一九五九年六月二八日号表紙。地色は小津好みの朱色。

春丘典子【はるおかのりこ】(映像) 昭和戦後の女優。前々項『毎日グラフ』一九五九年七月一九日号表紙。小津好みの赤いライトが映り込んでいる。

蝙蝠安【こうもりやす】歌舞伎『与話情浮名横櫛』(別項)の登場人物。

桑名【くわな】(映像・台詞) 三重県桑名市。一九三七年四月一日市制施行。嵐駒十郎の幟の右下にある。末尾、駒十郎とすみ子は「波矢駅」から桑名へ向かう。

ビクター【びくたあ】(映像) 相生座楽屋にテレビのポスターが貼ってある。『彼岸花』の「VICTOR」の項参照。

福知山【ふくちやま】 京都府福知山市。一九三七年四月一日市制施行。かつて陸軍歩兵第二十連隊があった。第二十連隊は南京戦に参加している。

南京豆【なんきんまめ】 『風の中の牝鶏』、『お茶漬の味』、『東京物語』、『彼岸花』、『お早よう』の項参照。

紀州【きしゅう】 紀伊国。和歌山県と三重県南部。

新宮【しんぐう】 和歌山県新宮市。一九三三年十月一日、新宮町と三輪崎町が合併し新宮市となる。『秋刀魚の味』につながる「秋刀魚の歌」で有名な佐藤春夫（一八九二～一九六四年）の出生地。『全日記小津安二郎』によれば、小津は五九年六月九日から十日にかけて『浮草』のロケハンで新宮を訪れている。

タカラビール【たからびいる】（映像） 宝酒造が一九五七年から六七年まで製造販売していたビール。つるやへ向かう駒十郎のショットで板壁に瑠璃看板が貼ってある。

『いつか来た道』【いつかきたみち】（映像） 島耕二監督『いつか来た道』（一九五四年）山本富士子主演。つるやへ向かう駒十郎のショットで貼ってあるサカイ中央のポスター。昔馴染みで子もなした本間お芳（杉村春子）の家に向かう駒十郎の後ろに「いつか来た道」と配する小憎い演出。また、山本富士子は『彼岸花』に出演。

『遊星王子』【ゆうせいおうじ】（映像） 若林栄二郎監督『遊星王子』（一九五九年、東映）梅宮辰夫主演。同前。国民年金【こくみんねんきん】（映像） 一九五九年、国会で国民年金法が成立し、六一年から施行された。映画ポスターの横に貼ってある国民年金のポスターはその啓蒙のためのもの。

森永キャラメル【もりながきやらめる】（映像） 駒十郎がつるやへ向かう途中で通る店の中に箱がある。

ブルド（ツクソース）【ぶるとつくそおす】（映像） 『秋刀魚の味』の項参照。つるやの向かいに瑠璃看板がある。

分田屋【わけたや】(映像) 不詳。つるやにある大徳利の文字。

朝日【あさひ】(映像) つるやの「奥の部屋」(『全集』)で嵐駒十郎(中村鴈治郎)が吸う煙草。末尾波矢駅でも。

一九〇四年に発売された口付紙巻煙草。七六年生産終了。

連珠三つ巴紋【れんじゅみつどもえもん】(映像) 三つ巴連珠。つるやの「二階(清の部屋)」(『全集』)から見える瓦の紋。瓦には火を避けるため、水に縁のある文様が好まれる。三つ巴は渦巻を連想させるので、三つ巴紋、連珠三つ巴紋が瓦の紋として定形化した。三つ巴は小早川隆景・秀秋の紋所である。

国定忠治【くにさだちゅうじ】(『全集』) 江戸時代後期の俠客。一八一〇〜五一年。上野国国定村の生まれ。殺人、関所破りなどの罪状で磔刑に処せられる。講談、映画、新国劇、大衆演劇などでお馴染み。

赤城山【あかぎやま】(『全集』) 群馬県の山。標高一八二八メートル。

忠治【ちゅうじ】(『全集』) 「国定忠治」の項参照。

巖鉄【がんでつ】(『全集』) 清水の巖鉄。国定忠治の子分。

定八【さだはち】(『全集』・台詞) 高山の定八。国定忠治の子分。

鉄【てつ】 前々項参照。

赤城の山【あかぎのやま】 「赤城山」の項参照。

国定村【くにさだむら】 国定忠治の生まれた村。現在は群馬県伊勢崎市国定町。

西山【にしやま】 群馬県の山。標高一八九八メートル。

円蔵【えんぞう】 日光の円蔵。国定忠治の子分。

小松【こまつ】（『全集』・台詞） 石川県西南部の地名。小松町など八町村の合併で一九四〇年十二月一日、小松市誕生。

小松五郎【こまつごろう】（『全集』・台詞） ここでは刀の名。次々項参照。

加賀の国【かがのくに】 加州。現在の石川県南部。

小松五郎義兼【こまつごろうよしかね】（『全集』は吉兼） 幕末の刀工の名。国定忠治所有の刀の作者として知られる。

「ななつの子」【ななつのこ】（舞台音楽） 野口雨情・詞／本居長世・曲、一九二一年。相生座で「国定忠治」終演から幕間にかけて流れる。「烏なぜ啼くの／烏は山に／可愛い七つの子があるからよ／可愛い可愛いと／烏は啼くの／可愛い可愛いと／啼くんだよ／山の古巢へ行ってみて御覧／丸い眼をした／いい子だよ」。

木瓜紋【もっこもん】（映像） 織田信長の紋。相生座の舞台幕に印刷されている。

政光堂時計店【せいこうどうとけいてん】（映像） 相生座客席に貼ってある宣伝ポスター。

「船方さんよ」【ふなかたさんよ】（音楽） 『お早よう』の項参照。梅廻家の店内で聞こえる。ラジオからか。

ヒメ椿香油【ひめつばきこうゆ】（映像） 一九二六年創業の中村三興堂（ヒメ椿本舗）が製造販売していた。小川軒台所に箱がある。

牛乳石鹼【ぎゅうにゅうせつけん】（映像） 牛乳石鹼共進社。一九〇九年創業、三一年設立の石鹼会社。小川軒台所に化粧石鹼の赤箱（一九二八年発売）がある。

喜多川千松【きたがわちまつ】（映像） 同前。映画ポスターの文字を改変してある。元は喜多川千鶴だろう。

東山代之介【ひがしやまよのすけ】(映像) 同前。映画ポスターの文字を改変してある。元は東千代之介だろう。

MJB【えむじえいびい】(映像) 『彼岸花』、『お早よう』、『秋刀魚の味』の項参照。駒十郎と本間清(川口浩)

が「棧橋」(『全集』)で釣り糸を垂れている場面に緑色の缶。画面下手、清の左側にある。餌入れか。

福壽園【ふくじゅえん】(映像) 一七九〇年創業、一九四九年設立の製茶会社。本社は京都府木津川市にある。

相生座で駒十郎が使用している茶箱。

茅ヶ崎海岸【ちがさきかいがん】(映像) 『長屋紳士録』、『麦秋』の項参照。「町はずれの砂丘」(『全集』)の水屋

ですみ子と扇升(伊達正)が話をする。のちに、杉山(入江洋佑)、長太郎(藤村善秋)、吉之助(三井弘次)、

仙太郎(潮万太郎)、矢太蔵(田中春男)が「砂丘」で話をする。

LION【らいおん】(映像) 一七九二年創業、一九二一年設立の事務器会社。水屋でロゴ入りの布が日よけに

使われている。のちにつるやではカーテンとして使われている。

行者丸【ぎようじゃがん】(映像) 下痢止め薬。大峰堂薬品工業(一九〇〇年創業(行者本舗大峯堂辻利吉)、一

九四七年設立)が製造販売していた。現在の製品名は行者丸赤玉。「水屋」(『全集』)の向かいの板塀に「はらの

くすり行者丸」の珙瑯看板が貼ってある。

天王荘【てんのうそう】(映像) 相生座客席の貼り紙。「大王荘」の「大」の字に加筆している模様。舞台上部幕

にも「王荘」。三重県志摩市大王町波切二四四に民宿大王荘が実在する。

大王町【だいおうちよう】(映像) 同前ポスター中の住所。あるいは「天王町」か。

波木井啓治【なみきいけいじ】(映像) 相生座の祝幕にある名前。

風船【ふうせん】（映像） 同前。山中貞雄『人情紙風船』を連想させる。

松本ふとん店【まつもとふとんてん】（映像） 相生座客席に貼つてある宣伝ポスター。

大福屋【だいふくや】（映像） 同前。三重県志摩市大王町波切一―一四―一二に旅館大福屋が実在する。

ペギー葉山【ぺぎいはやま】（音楽） 昭和から平成の女性歌手・タレント。一九五九年、「南国土佐を後にして」が大ヒット。

土佐【とさ】（音楽） 土州。現在の高知県。「南国土佐を後にして」の歌詞の一部。

高知【こうち】（音楽） 高知県。県庁所在地は高知市。「南国土佐を後にして」の歌詞の一部。

はりまや橋【はりまやばし】（音楽） 高知市中心部にある橋。「南国土佐を後にして」の歌詞の一部。

浦戸【うらど】（音楽） 高知市の地名。桂浜がある。かつて浦戸城があった。「南国土佐を後にして」の歌詞の一部。「浦戸」に「裏戸」がかけられている。

桂浜【かつらはま】（音楽） 高知市南部の浜辺。「南国土佐を後にして」の歌詞の一部。

森永ビスケット【もりながびすけっと】（映像） 相生座に箱がある。

「伊那の水月」【いなのみづいげつ】（映像） 相生座に貼つてある嵐駒十郎一座の演目。渡辺邦男監督「伊賀の水月」（一九五八年）には、中村鴈治郎が大久保彦左衛門役で出演している。

「臉の母」【まぶたのはは】（映像） 長谷川伸の戯曲。一九三〇年。相生座に貼つてある嵐駒十郎一座の演目。

「慶安太平記」【けいあんたいへいき】（映像） 歌舞伎「樟紀流花見幕張」の通称。二代目河竹新七作、一八七

〇年初演。由比正雪、丸橋忠彌らが起こした慶安の変に題材を取る。「浮草」冒頭で、酒好きの忠彌が「ここで

三合あしこで五合、拾いあつめて三升ばかり」(『全集』)という台詞が引かれる。相生座に貼つてある嵐駒十郎一座の演目。

池田家具店【いけだかぐてん】(映像) 相生座客席に貼つてある宣伝ポスター。池田家具は三重県志摩市大王町波切三九三九五に実在する。

近藤洋品店【こんどうようひんでん】(映像) 相生座客席に貼つてある宣伝ポスター。

室戸【むろと】(音楽) 高知県室戸市。一九五九年三月一日、室戸町ほか五町村の合併で室戸市誕生。「南国土佐を後にして」の歌詞の一部。

宇治茶【うじちゃ】(映像) 京都府宇治市で加工される高級茶。現在では宅地化により茶畑が減少している。原料茶葉生産地は京都府のほか滋賀県・三重県・奈良県となっている。小津安二郎が代用教員をしていた三重県松阪市飯高町(当時は飯南郡宮前村)にも茶畑が広がっており、宇治茶の茶葉として使用されている。

樽平【たるへい】(映像) 一六九五頃創業の樽平酒造(山形県東置賜郡川西町大字中小松二八八六)が製造販売する清酒ブランド。つるやの店内に一斗樽がある。

仁丹【じんだん】(映像) 板壁に「仁丹あり」の珙瑯看板が貼つてある。『早春』の項参照。同じ壁に「\*\*タイヤー」の珙瑯看板もあるが、判読できない。

ブリヂストン【ぶりぢすとん】(映像) 一九三二年三月一日設立された世界最大のタイヤメーカー。板壁に珙瑯看板が貼つてある。『東京物語』では、平山紀子(原節子)が勤める「米山商事の事務所」(『全集』)にタイヤの実物がある。

岡谷【おやか】 長野県岡谷市。一九三六年四月一日、諏訪郡平野村が町制を飛び越えて名称を変更の上、市制施行。

豊川【とよかわ】 愛知県豊川市。一九四三年六月一日、宝飯郡豊川町など四町村の合併で豊川市誕生。

山中温泉【やまなかおんせん】 石川県加賀市の温泉。

「天衣紛上野初花」【くもにまごううえのはつはな】『麦秋』の項参照。相生座の舞台で駒十郎が「玄関先の場」の啖呵を切っている台詞のみが聞こえる。「ええ、仰々しい。静かにしろ。悪に強きは善にもと、世の譬えにも言う通り、親の嘆くが不憫さに、娘の命を助けようと、腹に巧みの魂胆を、練癖小路に隠れのねえ、お数寄屋坊主の宗俊が、頭の丸いを幸いに衣で此岸を忍ヶ岡、神の御末の一品親王、宮の使いと偽って、神風よりも御威光の、風を吹かして大胆にも、出雲守の上屋敷へ、仕掛けた仕事の曰く窓、家中一統白壁と、思いのほかには帰りがけ、邪魔なところへ北村大膳」(『全集』の台詞とは少し異なる)。

宗俊【そうしゅん】 河内山宗俊。前項台詞中に出る。

忍ヶ岡【しのぶがおか】 上野の古称。「衣で此岸を忍ヶ岡」は「此岸をしのごうか」にかけているか。ただし、『全集』では「衣で姿を忍ヶ岡」、「河竹黙阿彌集 明治文学全集9」(二九六六・七、筑摩書房)では「法衣ころもでしがを忍ぶが岡」となっている。

「野崎村」【のざきむら】(『全集』) 歌舞伎「新版歌祭文」の「野崎村の段」。

お光【おみつ】(『全集』) 前項の登場人物。

お染【おそめ】(『全集』) 前々項の登場人物。

聖徳太子【しょうとくたいし】（映像） 飛鳥時代の皇族。厩戸の皇子。一九五〇年一月七日から六五年一月四日まで千円札の肖像。また、一九五八年二月一日から八六年二月四日まで日本最初の一万円札の肖像であった。相生座楽屋で、本間清をかどわかすようにと、すみ子が加代に千円札を渡す。のちに、矢太蔵が梅廼家で守り袋からたんだ千円札を出す。

大王崎灯台【だいおうざきとうだい】（映像） 三重県志摩半島の大王崎に立つ灯台。一九二七年点灯。  
缶ピース【かんぴいす】（映像） 『彼岸花』、『お早よう』、『秋刀魚の味』の項参照。波矢郵便局（次項）の机上に  
ある。

波矢郵便局【なみやゆうびんきょく】（映像） 本間清が勤める郵便局。波矢は架空の地名。  
PILOT【ぱいろうつと】（映像） 波矢郵便局の机上に大きな空き瓶がある。

岐阜提灯【ぎふちようちん】（映像・『全集』） 美濃紙を張った岐阜特産の卵形提灯。つるやに下がっている。  
三つ巴紋【みつどもえもん】（映像） つるやの外や相生座の前にある提灯の紋。

半田【はんた】 愛知県半田市。一九三七年十月一日市制施行。

浜島【はまじま】（映像） 三重県志摩市浜島町（映画公開時は志摩郡浜島町）。清と加代の逢引の場。

「水の流れと人の身は」【みずのながれとひとのみは】 歌舞伎「松浦の太鼓」中の台詞。赤穂浪士・大高源吾は宝井其角の弟子であった。討ち入り前夜、両国橋で源吾に会った其角が「年の瀬や水の流れと人の身は」と発句を読むと、源吾は「あした待たるるその宝船」と挙句する。其角は討ち入りを断念したのかと思うが、翌日その決行を悟るのであった。

鈴木屋【すずきや】（映像）「呉服と服地の店鈴木屋」のポスターが相生座の客席に貼つてある。鈴木屋呉服店は三重県伊勢市大世古二―二―二に実在する。

中要洋服店【なかがなめようふくてん】（映像）相生座の客席に貼つてある宣伝ポスター。

山田駅前【やまだえきまえ】（映像）旧国鉄山田駅前。山田駅は一九五九年七月二五日、伊勢市駅と改称された。前項ポスターの中の文字。

「与話情浮名横櫛」【よはなさけうきなのよこぐし】（映像）相生座に貼つてある演目。一八五三年初演の歌舞伎。なお、映画公開の一九五四年にはこの作品を題材にした春日八郎歌う「お富さん」（山崎正・詞／渡久地政信・曲）が大ヒットした。

「隅田川\*\*」【すみだがわ】（映像）相生座に貼つてある演目。

ちがみ屋【ちがみや】（映像）相生座客席に貼つてある宣伝ポスター。三重県志摩市大王町船越（映画公開時は志摩郡大王町船越）にある地方職員共済組合の宿泊施設。

兵丹屋商店【ひょうたんやしやうてん】（映像）三重県志摩郡浜島町（現在は志摩市）にあつたらしい。

宝焼酎【たからしょうちゆう】（映像）『お早よう』の項参照。嵐駒十郎一座解散の宴で座員が飲んでいる。

浜松【はまつ】 静岡県浜松市。一九二一年七月一日、市制施行。

一身田【いしんでん】 三重県津市の一部。専修寺（三重県津市一身田町二八一九）の寺内町である。

糸太夫【いとだゆう】（映像）相生座の舞台幕に「糸太夫さん江 ひるき」とある。

虫下しセメン圓【むしくだしせめんえん】（映像）虫下しの商品名。現在でも虫下しセメン錠（中新薬業）が発

売されている。つるやの壁の柱時計の右側に掛かっている薬の袋に赤い文字で書かれている。この袋には大きく羽を広げた鳥の絵に①のロゴが印刷されている。現在も存在する鳥居薬品だろうか。

亀甲花菱紋【きっこうはなびしもん】(映像) つるやの壁の柱時計の左側に亀甲花菱紋が掛かっている。

田丸屋【たまるや】(映像) 「田舎の小路」(『全集』)に「宿 田丸屋」の看板がある。「宿」と「田丸屋」の間に石持ち地抜きろうそくの家紋が入っている。

C107【しいいちまるなな】(映像) 旧国鉄が一九三〇年に製造した二三両のC10形蒸気機関車の七番目。

C108【しいいちまるはち】(映像) 旧国鉄が一九三〇年に製造した二三両のC10形蒸気機関車の八番目。

武蔵五日市駅【むさしいつかいちえき】(映像) JR東日本(映画公開時は国鉄)五日市線の終着駅。隣駅は武蔵増戸駅。『全日記小津安二郎』一九五九年九月十九日(土)の項に「晴／八時出発して五日市駅にゆく 保線

区 機関区にて情景をとる」との記述がある。C107・C108の映像が撮影された。

月桂冠【げっけいかん】(映像) 「粗末な宿屋の廊下」(『全集』)の鏡に入っている宣伝文字。『早春』、『お早よう』の項参照。

旅荘景雲荘【りょそうけいいうんそう】(映像) 波矢駅の窓にポスターが貼ってある。

伊勢志摩国立公園【いせしまこくりつこうえん】(映像) 同前。三重県志摩半島の国立公園。一九四六年一一月二〇日指定。

亀山【かめやま】(映像) 波矢駅に「亀山行」の札が掛かっている。旧国鉄亀山駅。

草津【くさつ】(映像) 波矢駅に「草津行」の札が掛かっている。旧国鉄草津駅。

伊勢【いせ】（映像） 波矢駅に「伊勢行」の札が掛かっている。伊勢という名の駅は実在しない。旧国鉄伊勢市駅を指すと思われる。「山田駅前」の項参照。すみ子の前に掛かっている札だが、最初のショットでは掛かっただけで、駒十郎をはさんだ次のショットに掛かる。

松阪【まつざか】（映像） 波矢駅に「松阪行」の札が掛かっている。『東京物語』の項参照。旧国鉄松阪駅。

名古屋【なごや】（映像） 波矢駅に「名古屋行」の札が掛かっている。『晩春』、『早春』、『東京暮色』、『彼岸花』の項参照。旧国鉄名古屋駅。

波矢駅事務室【なみやえきじむしつ】（映像） 「波矢駅事務室」の看板が事務室内の鴨居に掛かっている。室内に掛かっているのは実際はおかしいが、映像上そこに配置されているのである。

西秋留【にしあきる】（映像） ここでは国鉄五日市線の西秋留駅。現在はJR東日本秋川駅。『全日記小津安二郎』一九五九年九月三十日（水）の項に「西秋留にて汽車のラストシーン撮影に出かける」とある。

## 『秋日和』（一九六〇年）

里見淳【さとみとん】（クレジット） 『秋日和』の原作としてクレジット。小説家。小津安二郎と深い親交があった。

『文芸春秋』【ぶんげいしゅんじゅう】（クレジット） 同前。一九二三年創刊の文芸誌・総合誌。『秋日和』は一九六〇年八月号に掲載。

角川書店【かどかわしよてん】（クレジット） 同前。一九四五年創業の出版社。単行本『秋日和』を一九六〇年

十月刊。

**東京タワー**【とうきょうたわあ】(映像・『全集』) 東京都港区芝にある電波塔。一九五八年開業。三百三十三メートル。東京タワーは増上寺の墓地だった場所に建設された。また、朝鮮戦争でスクラップとなったアメリカ軍の戦車が鉄骨として再利用された。死のにおいが強い建造物なのだ。冒頭、東京タワーの頭の切れたショットふたつ映される。全景を映さないのはいかにも小津好みである。

**東禅寺**【とうぜんじ】(映像) 東京都港区高輪三―一六―一六。臨済宗妙心寺派の寺院。『全日記小津安二郎』一九六〇年十月三日(月)のくだりに「ロケ出発して 品川の東禅寺の境内をとる」とある。

**麻布**【あざぶ】(『全集』) 東京都港区の一部。旧・麻布区と重なる。前項につき脚本に「東京タワーが見え、近くのアパートの窓々には洗濯物が干してある——と言ったような、都内麻布あたりの寺」とある。

**上野**【うえの】『長屋紳士録』の項参照。

**本牧亭**【ほんもくてい】かつて東京都台東区上野にあった講談寄席。現在は上野の講談寄席日本料理本牧亭に名が引き継がれている。

**松坂屋**【まつざかや】一六一一年創業、一九一〇年設立の百貨店。本店は名古屋。ここでは上野店。東京都台東区上野三―二九―五。

**榛名湖**【はるなこ】(台詞・映像) 群馬県高崎市の湖。榛名山山頂にある。

**伊香保**【いかほ】『長屋紳士録』の項参照。

**武男**【たけお】『長屋紳士録』の「川島武男」の項参照。

浪子【なみこ】『長屋紳士録』の「片岡浪子」の項参照。

清洲橋【きよすずばし】（映像） 隅田川に架かる橋。関東大震災復興事業として、一九二八年竣工。永代橋とともに

に内務省復興局土木部長太田圓三らが設計指導した。太田圓三は木下杢太郎（太田政雄）の兄。

築地【つきじ】（『全集』） 前項につき脚本に「築地界限」とある。

カナダドライ【かなだどらい】（映像） 『秋刀魚の味』の項参照。映画公開時の販売元は国際飲料（現・サッポロ

飲料）。『秋刀魚の味』の項では「サッポロ飲料」と記したが、「国際飲料（現・サッポロ飲料）」と訂正する。

バヤリースオレレンジ【ばやりいすおれんじ】（映像） 『彼岸花』の「Bireley's」の項参照。

ジョニーウオーカー赤ラベル【じょにいうおかあからべる】（映像） スコッチのブランド名。通称ジョニ赤。

『秋刀魚の味』の項参照。『宗方姉妹』、『麦秋』、『お茶漬の味』の「JOHNNIE WALKER」の項参照。

清洲橋近くの「料亭の座敷（二階）」（『全集』）の座卓の上にある。のちに田口家の茶篋筒、ゴルフ場クラブハウ

ス、ルナの棚にも。

梅原龍三郎【うめはらりゅうざぶろう】（映像） 洋画家。「料亭の座敷（二階）」（『全集』）の三輪秋子（原節子）

の後ろにバラの絵がかかっている。『全日記小津安二郎』一九六〇年八月十五日（月）のくだりに「料亭のセツ

ト原 司 佐分利 伸郎 北／中村の洋服間違ひ少しく周章てる 北川くる 床に梅原のバラ 蓬春の椿か

ける」とある。十三日（土）のくだりには「床に梅原浅間山をかける」とあり、これは末尾近くの扇面の絵で

ある。

山口蓬春【やまぐちほうしゅん】（映像） 日本画家。前項参照。

東大【とうだい】『晩春』の項参照。

建築【けんちく】ここでは東京大学工学部建築学科。

大林組【おおばやしぐみ】一八九二年創業、一九三六年設立のゼネコン。

本郷三丁目【ほんごうさんちようめ】東京都文京区の地名。

青木堂【あおきどう】レストランの名。夏目漱石『三四郎』（一九〇八年）にも登場する。

アンチピリン【あんちぴりん】沈痛解熱薬。

アンチヘブリン丸【あんちへぶりんがん】薬の名。架空のものだろう。屁をひらない薬とでもいう、小津安二郎

独特のスカトロジックな言葉遊びだろう。とはいえ、ハカリ印のヘブリン丸は、参天製薬が一九〇年創業時に発売した風邪薬。

ハカリ印【はかりじるし】田口参天堂（現・参天製薬）のロゴ。前項参照。

イモリの黒焼き【いもりのくろやき】古来惚れ薬として知られる。『お早よう』の「黒焼屋」の項参照。

世田ヶ谷【せたがや】（『全集』）脚本に田口秀三（中村伸郎）の住まいを「世田ヶ谷あたりの住宅地」とする。

武者小路実篤【むしやのこうじさねあつ】（映像）『彼岸花』の項参照。田口家の茶の間に額がかかっている。

リプトン紅茶【りぷとんこうちゃ】（映像）『彼岸花』の項参照。田口家の茶箆筥に一九〇七年発売の青缶が入っている。のちに桑田服飾学院にも。秋子のアパートには一九〇六年発売の黄缶がある。

サントリー角瓶【さんとりいかくびん】（映像）『彼岸花』、『秋刀魚の味』の項参照。田口家の茶箆筥に入っている。

赤玉ポートワイン【あかだまぼおとわいん】(映像) 『お早よう』の項参照。田口家の茶箆筒に入っている。のちに間宮家、三輪家の茶箆筒にも。

上諏訪【かみすわ】 長野県諏訪市上諏訪駅周辺。諏訪湖のほとり。上諏訪温泉がある。

アンマ膏【あんまこう】 膏薬の名。

丸の内【まるのうち】(映像・『全集』) 『晩春』、『麦秋』、『東京物語』、『早春』、『彼岸花』、『秋刀魚の味』の「丸ノ内」の項参照。間宮の会社(三和商事)がある。

缶ピース【かんびいす】(映像) 『彼岸花』、『お早よう』、『秋刀魚の味』、『浮草』の項参照。間宮の三和商事「常務室」(『全集』)にある。のちに間宮家の茶の間にも。

フランス【ふらんす】 秋子の台詞に「フランス刺繍」。

呉服橋【ごふくばし】(『全集』) 『東京暮色』の項参照。脚本に「うなぎ屋の「竹川」があり場所として「街(呉服橋あたり)」とある。

AOI【あおい】(映像) 呉服橋の鰻屋向かいの店の行灯。

COFFEE BOW【こおひぼう】(映像) 同前。

サッポロビール【さっぽろびいる】(映像) 『お早よう』、『秋刀魚の味』の項参照。ラガー大瓶がうなぎ屋にある。のちに若松(別項)にも。また、ゴルフ場クラブハウスのカウンターで談笑する間宮らのビアグラスに白い星

のロゴが付いている。弁天寿しにはポスターが貼つてある。榛名湖畔の茶屋には提灯が下がっている。

イギリス【いぎりす】 グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国の通称。

**早稲田【わせた】** ここでは早稲田大学。東京都新宿区戸塚町一—一〇四。一八八二年、大隈重信が創立した東京専門学校を前身とする。一九〇二年、早稲田大学と改称。

**政経【せいけい】** ここでは早稲田大学政治経済学部。

**【紺碧の空】**【こんぺきのそら】 早稲田大学第一応援歌。住治男・詞／古閑裕而・曲、一九三一年。

**伏見【ふしみ】** 『彼岸花』の項参照。後藤庄太郎（佐田啓二）の実家が伏見の蔵元だという話を問宮路子（桑野みゆき）がする。のちに後藤がアヤ子というシヨットも。

**【若き血】**【わかきち】 慶應義塾大学応援歌。堀内敬三・詞曲、一九二七年。「紺碧の空」を歌っていた問宮路子（桑野みゆき）は立ち退る時、なぜか「若き血」をハミングするのである。

**デイズニー【でいずにい】**（映像） 問宮忠雄（島津雅彦）が読んでいる児童向き絵本の文字。

**ピノキオ【びのきお】**（映像） 問宮忠雄（島津雅彦）が読んでいる児童向き絵本。表紙に印刷されている。

**【早稲田大学校歌】**【わせただいがくこうか】 相馬御風・詞／東儀鉄笛・曲、一九〇七年。通称「都の西北」。問宮忠雄が「わせたわせたわせたわせたわせた」と歌いながら去る。

**【東京新聞】**【とうきょうしんぶん】（映像） 問宮家で問宮宗一（佐分利信）が読んでいる。『お早よう』の項参照。ユーハイム【ゆうはいむ】（映像） 『彼岸花』の項参照。秋子が自宅アパートに土産を持って帰る。

**味の素【あじのもと】**（映像） 『早春』、『彼岸花』、『お早よう』、『秋刀魚の味』の項参照。三輪家のガス台と棚に食卓瓶が、棚に赤い缶がある。のちに秋子が食卓瓶をちゃぶ台に置く。

**東芝【とうしば】**（映像） 三輪家に東芝電気釜がある。東芝は一九五五年、日本で最初の自動式電気釜を発明し

た。

ミツカン酢【みつかんす】(映像) 『お早よう』の項参照。秋子のアパートの棚にある。

カゴメケチャップ【かごめけちゃっぷ】(映像) 『お早よう』、『秋刀魚の味』の項参照。秋子のアパートの棚にある。

桑田服飾学院【くわたふくしよくがくいん】 秋子がフランス刺繍を教えている学校。『秋刀魚の味』の「桑田」の項参照。桑田という苗字、あるいは大洋ホエールズの桑田武にこだわりがあるか。

横浜【よこはま】(映像) 『全日記小津安二郎』一九六〇年九月二日(金)のくだりに「横浜山手ロケ 服飾学院の表」とある。

バイエル【ばいえる】(BGM) 『彼岸花』、『秋刀魚の味』の項参照。

Quink【くいんく】(映像) パーカーのインク。桑田服飾学院の机上にある。

東山魁夷【ひがしやまかいい】(映像) 日本画家。桑田服飾学院に小津安二郎が所蔵していた「門」が掛かっている。そのほか『秋日和』には加藤栄三、高山辰雄、橋本明治、速水御舟の絵が掛かっている。

和光【わこう】 『晩春』の項参照。

WILD T3【わいるどていいすりい】(映像) 経緯儀(角度を測る測量機器)の商品名。アヤ子の会社にポスターが貼ってある。

銀座【ぎんざ】(『全集』・台詞) 『晩春』、『麦秋』、『東京物語』、『東京暮色』、『彼岸花』の項参照。

VAN【づあん】「銀座の横丁」(『全集』)のネオン。

若松【わかまつ】『彼岸花』、『秋刀魚の味』の項参照。『全日記小津安二郎』に小津安二郎が通っていた赤坂の店として頻出。「銀座の横丁」(『全集』)の店。

TABASCO【たばすこ】(映像) タバスコ。アメリカのマキルヘニー社の辛味調味料。若松の店内にある。

SUN【さん】(映像) 『秋刀魚の味』の項参照。アヤ子がアパートに持ち帰る紙袋のロゴ。

MJB【えむじえいびい】(映像) 『彼岸花』、『お早よう』、『秋刀魚の味』、『浮草』の項参照。秋子のアパートのミシンの上に緑色の缶がある。

小浅間山【こあさまやま】(映像) 長野県北佐久郡軽井沢町の山。一六五五メートル。浅間山の東側にある。

HUTTE UNOHANA【ひゅつてうのはな】(映像) アヤ子らがハイキングで泊まるヒュッテ。

UTUKUSIGAHARA【うつくしがはら】(映像) 美ヶ原。長野県松本市東方の高原。HUTTE UN

OHANAにポスターが貼つてある。

(尾) 瀬号【おせごう】(映像) ここではJR東日本(映画公開時は国鉄)の臨時列車名。同前ポスター。

東京中央郵便局【とうきょうちゆうおうゆうびんきょく】(映像) 吉田鉄郎設計、一九三一年竣工。

湘南電車【しょうなんでんしゃ】(映像・『全集』) 『彼岸花』の項参照。三輪アヤ子(司葉子)と佐々木百合子(岡

田茉莉子)がオフィスの屋上から東海道本線を行く湘南電車を見送っている。新婚旅行へ行く重子が乗っているはずなのである。のちに同じ場所でアヤ子ひとりのショットでも。

東京都電【とうきょうとでん】(映像) 湘南電車と平行して東京中央郵便局の横を都電が走り抜けていく。

日展【にってん】(映像) 「第3回日展 会期 会場 ③三越」というポスターが銀座に貼つてある。

三越【みつこし】(映像) 前項ポスター中の文字。日本初の百貨店。越後屋の名で一六七三年に創業。  
CARMEN【かるめん】(映像) 行灯。『秋刀魚の味』でも同じ行灯が使用されている。

BAR ARROW【ばあろう】(映像) 行灯。呉服橋の喫茶店「BOW」と対をなしている。

(L)ION【らいおん】(映像) 銀座のネオン。

LUNA【るな】(映像・全集) 『彼岸花』でも登場するバー。ルナ。

GREEN GOLF【ぐりいんごるふ】(映像) 問宮宗一が買い物をするゴルフ用品店。

杉山寧【すぎやまやすし】(映像) 日本画家。銀座の喫茶店に鳥のデッサンが掛かっている。

コココーラ【こかこおら】(映像) 『晩春』、『麦秋』の項参照。ゴルフ場にある。

ホワイトホース【ほわいとほおす】(映像) 『彼岸花』、『秋刀魚の味』の項参照。ゴルフ場クラブハウスにある。

のちにルナ店内に置物と白馬の絵。末尾近く、アヤ子の結婚式後清洲橋付近の料亭で問宮、田口、平山が飲んでいる座敷にボトルがある。

ジョニーウオーカー黒ラベル【じょにいうおおかあくろらべる】(映像) スコッチのブランド名。通称ジョニ黒。

ゴルフ場クラブハウスにある。のちにルナの棚にも。

Bireley's【ばやりいず】(映像) 『お茶漬の味』、『彼岸花』の項参照。ゴルフ場クラブハウスのカウンターに灰皿がある。

SAPPRO BEER【さっぽろびあ】(映像) 平山精一郎(北龍二)の家の廊下の棚に化粧箱がある。

ASAHI BEER GOLD LABEL【あさひびあごおるとらべる】(映像) 同前。

**日東電機**【につとうでんき】 田口秀三(中村伸郎)が勤務する会社。一九一八年に創業された日東電機工業(現在は日東電工)が同名。

**南京豆**【なんきんまめ】(映像) 『風の中の牝鶏』、『お茶漬の味』、『東京物語』、『彼岸花』、『お早よう』、『浮草』の項参照。ルナのカウンターで間宮が食べている。

**VAT 69**【ヴあつとろくじゅうきゅう】(映像) スコッチのブランド名。『彼岸花』の項参照。ルナのテーブルやカウンターに灰皿、棚にウイスキーがある。

**ルオー**【るおお】(映像) ジョルジュ・ルオー。フランスの画家。ルナの壁にキリストの顔らしき作品が飾つてある。

**JONNIE WALKER**【じょにいうおおかあ】(映像) 『お茶漬の味』、『宗方姉妹』、『麦秋』の項参照。ルナの棚にジョニーウォーカー人形がある。これは足だけ見える。その後、カウンター端にも。

**HENESSY**【へねしい】(映像) コニャックのブランド名。ルナの棚に販促品がある。

**BLACK&WHITE**【ぶらつくあんどほわいと】(映像) スコッチのブランド名。『彼岸花』の項参照。

**オールドパー**【おおるどぱあ】(映像) スコッチのブランド名。ルナの棚、のちに三輪アヤ子の机の上に置かれている。母がビールを飲むシークウエンスはあるが、娘も行ける口なのか。

**少女歌劇**【しょうじょかげき】 少女・若い女性によるミュージカルやレビューなど。宝塚歌劇団、松竹歌劇団が代表的。

**「モン・パリ」**【もんぱり】 『全集』は「モンパリ」。一九二七年、宝塚歌劇団が上演した日本最初のレビュー。岸

田辰彌作、白井鉄造振付。

「すみれの花咲く頃」【すみれのはなさくころ】『全集』は「葦の花の咲く頃」。間宮文子（沢村貞子）は「花の」といつている。フランツ・デーレ・曲／白井哲造・訳詞。一九三五年から宝塚を象徴する曲として歌い継がれている。

プレスリー【ぶれすりい】エルヴィス・プレスリー。キング・オブ・ロック。

角川文庫【かどかわぶんこ】（映像）『秋刀魚の味』の項参照。三輪家の本棚に並んでいる。

味の素【あじのもと】（映像）『早春』、『彼岸花』、『お早よう』、『秋刀魚の味』の項参照。三輪秋子がちゃぶ台に食卓瓶を置く。

鴻巣【こうのす】埼玉県鴻巣市。一九五四年九月三十日、鴻巣町が北足立郡常光村を編入して鴻巣市誕生。

PEARL【ばある】（映像）弁天寿し（別稿）の向いのタバコ屋の商品。一九五五年十月一日発売。

スリーエー【すりいええ】（映像）同前。一九六〇年五月一日発売。同年五月七日（土）の『全日記小津安二郎』に「五月一日から新タバコAAA発売」と記されている。

いこい【いこい】（映像）同前。『浮草』の項参照。

Midori【みどり】（映像）同前。一九五七年八月一日発売。

弁天寿し【べんてんずし】（映像）「江戸前 弁天寿し 電話一六九六番」の暖簾。鎌倉の弁天すしは、小津安二郎が通っていた店として『全日記小津安二郎』に頻出。

笹や【ささや】（映像）弁天寿し二階の百合子の部屋から見える提灯の文字。向かいの店か。

大関【おおぜき】(映像) 弁天寿しに貼つてある清酒のポスター。

有楽町【ゆうらくちょう】(『全集』) 「ラーメン屋(有楽町あたり)」とある。

三来元【みきもと(さんらいげん)】(映像) 『早春』、『お茶漬の味』の「三来元ラーメン」の項参照。アヤ子と後藤がカウンターでラーメンを食べている。奥行きがほとんどないカウンターは高度成長期によくあったのではないか。札幌ラーメンの元祖とされる二条市場のだるま軒(札幌市中央区南三条東一丁目)は今でも当時の雰囲気を残している。

「目黒の秋刀魚」【めぐろのさんま】 落語。

俵屋【たわらや】(映像) 伊香保温泉の旅館。秋子の亡夫の兄・三輪周吉(笠智衆)が経営する。「△俵屋」という大きな看板が掛かっている。ロゴは百貨店のそごうと同じきり。

三つ巴紋【みつどもえもん】(映像) 伊香保温泉にある提灯の紋。『浮草』の項参照。

吉田屋旅館【よしだやりよかん】(映像) 伊香保温泉の旅館。同名の旅館が群馬県北群馬郡伊香保町四九に現存する。一八八七年創業。

「山小舎の灯」【やまごやのともしび】(歌) 近江俊郎・歌／米山正夫・詞曲、一九四七年。修学旅行の女子高校生たちが歌っている。彼女らは「たそがれの灯はほのかに点りて／懐しき山小舎はふもとの小径よ／思い出の窓に寄り君を偲べば／風は過ぎし日の歌をばささやくよ。暮れゆくは白馬か穂高はあかねよ／樺の木のはの白き影も薄れゆく／寂しさに君呼べどわが声むなしく／はるか谷間よりこだまは帰ってくる」と二番まで歌い、さらに一番を繰り返すのである。

日光【につこう】 栃木県日光市。一九五四年二月十一日、上都賀郡小来川村を編入し日光市誕生。二〇〇六年三月二十日、五市町村の合併で拡大。徳川家康を祀る世界遺産・日光東照宮や華厳の滝などで知られる。

『チェーホフ全集』【ちええほふぜんしゅう】(映像) 全十六巻、中央公論社。一九六〇〜六一年。その一冊を伊香保の俵屋で三輪アヤ子が読んでいる。アヤ子はチェーホフを読む女である。

榛名富士【はるなふじ】(映像) 榛名山の中央に位置する峰。榛名山富士山神社がある。

榛名山ロープウェイ【はるなさんろおぶうえい】(映像) 榛名富士を登るロープウェイ。

榛名湖【はるなこ】(映像) 群馬県高崎市にある湖。榛名山山頂のカルデラ湖である。

リボンシトロン【りぼんしとろん】(映像) サップロビールとともにサップロホールディングスに属するサップロ飲料が製造販売するサイダーのブランド名。映画公開時の社名は日本麦酒。一九〇九年、大日本麦酒がシトロンを発売。一九一五年、リボンシトロンと改名し現在に至る。三輪母子が語らっている榛名湖畔の茶店にポスターが貼られている。また榛名湖畔の茶屋にサップロビールの赤い星が付いた提灯が下がっており、そこから「サップロビール」、「リボンシトロン」の短冊がぶら下がっている。

リボンジュース【りぼんじゅうす】(映像) かつて日本麦酒(一九六四年からサップロビール)で製造販売していた飲料。前項と同じポスター中に併記されている。

「紅葉」【もみじ】(歌) 高野辰之・詞／岡野貞一・曲、一九一一年。文部省唱歌。「秋の夕日に照る山紅葉／濃いも薄いも数ある中に／松を彩る楓や鳶は／山の麓の裾模様。溪の流れに散り浮く紅葉／波に揺られて離れて寄って／赤や黄色の色様々に／水の上にも織る錦」。俵屋で「山小舎の灯」(別項)を歌っていた女子高校生たち

の歌であろうか。湖畔から聞こえてくる体。このように、小津安二郎はフルコーラスを聞かせてしまうのである。

## 『小早川家の秋』（一九六一年）

宝塚映画【たからづかえいが】（クレジット） 巻頭のクレジット。宝塚映画製作所。一九三八年、兵庫県宝塚市に開設されるも、戦時中閉鎖。戦後一九五一年阪急電鉄の出資で後を継いで設立された。八三年解散したのち、現在の宝塚映像に引き継がれる。

宝塚【たからづか】（クレジット） 巻頭クレジット「宝塚映画作品」の下のハープのようなロゴ中の文字。

小早川家【こはやがわけ】（クレジット・台詞） 作品タイトル『小早川家の秋』には謎が多い。まず、小早川を「こはやかわ」ならぬ「こはやがわ」と濁音の位置を変えて読ませているわけは分らない。ともあれ、小早川の姓からすぐに想起されるのは、戦国武将小早川隆景とその養子に入った小早川秀秋であろう。特に後者は、タイトルに「秋」と入っていることから、想像をくすぐる。小早川秀秋は関ヶ原の合戦で西軍に属しながら徳川家康に教唆されて裏切り、東軍を勝利に導いた。いわば、日本一の裏切り者として名をとどろかせている。秀秋は関ヶ原後、岡山藩主となるも、若くして薄倅の生涯を終える。『小早川家の秋』は小早川万兵衛（中村鴈次郎）の裏切りの物語でもあるのだから、連想が繋がっているものの、弱い。次に問題なのが、「秋」の方である。「秋」は小早川秋子（原節子）の「秋」。小津映画においてファミファタール（運命の女）の役割を背負う原節子の役名が、前作『秋日和』の三輪秋子（ちなみに『晩春』にも三宅邦子がこの名で登場する）に続いて

秋子である。どちらも寡婦の役。むろん、秋子の名が小津の姪である小津亜紀子さんにも繋がっているこというまでもない。「亜紀子」から秋子も紀子も出てくるのである。『秋日和』が「秋子日和」とも解けたように『小早川家の秋』は「小早川家の秋子」ともほどけるのである。

大阪【おおさか】（映像・『全集』・台詞）『宗方姉妹』、『お茶漬の味』、『東京物語』、『早春』、『彼岸花』、『浮草』の項参照。冒頭の空ショット。『全集』に「大阪 道頓堀の夕暮れ時——」とある。のちに小早川文字（新珠三千代）の台詞にも。

道頓堀【どうとんぼり】（映像・『全集』）『浮草』の項参照。大阪市中央区の繁華街。難波・心斎橋を含めミナミと呼ばれ、梅田のキタと対をなす。冒頭空ショット。

道頓堀川【どうとんぼりがわ】（映像） 大阪の繁華街ミナミを東西に貫く運河。

パンピタン【ばんびたん】（映像） 武田薬品工業が製造販売する日本最初の総合ビタミン剤。一九五〇年一二月発売。道頓堀のネオンサイン。

カルピス【かるびす】（映像） 道頓堀のネオンサイン。カルピス（映画公開時はカルピス食品工業）が製造販売する乳酸菌飲料。一九一九年、日本で最初の乳酸菌飲料として発売された。

アサヒビール【あさひびいいる】（映像） 道頓堀のネオンサイン。『彼岸花』、『お早よう』、『秋刀魚の味』の項参照。『お早よう』、『秋刀魚の味』の「ASAHI GOLD」の項、『秋日和』の「ASAHI BEER GO LD LABEL」の項参照。

NEW JAPAN【にゅうじゃぱん】（映像） 道頓堀のネオンサイン。大阪市中央区道頓堀二丁目三番二八号

にあったサウナ。現在はニュージャパン観光(一九三〇年創業、一九四九年設立)として、サウナ以外にフィッシュトネス、飲食業などを展開している。映画公開前年の一九六〇年、九階建て本館が完成、公開直前六一年八月に現在の社名に変更している。道頓堀のネオンとしては新しいものだった。いかにも新しいものの好きの小津安二郎ならではのロケポイントであった。

ニュージャパン【にゅうじゃぱん】(映像) 同右。

日本盛酒坊【にほんさかりしゅぼう】(映像) 道頓堀のネオンサイン。日本盛は兵庫県西宮市の酒造会社およびその清酒ブランド名。

\*洲閣【\*しゅうかく】(映像) 道頓堀のネオンサイン。伊勢志摩国立公園の旅館・和洲閣(三重県志摩市志摩町(映画公開時は志摩郡志摩町)和具五二四)もしくは志洲閣(三重県志摩市阿児町(映画公開時は志摩郡阿児町)国府三六九三一六)も考えられる。あるいは、当時大阪府枚岡市(現在は東大阪市)にあった国際観光旅館・石切五洲閣の可能性がもっとも高いか。「洲閣」の上の小さな文字が「観光旅館」と読めるか。現在はホテルセイリュウ(大阪府東大阪市上石切町一―一―二)が建っている。

リラ【りら】(全集)・映像) 北川弥之助(加東大介)が磯村英一郎(森繁久彌)を小早川秋子に引き合わせるバー。『全集』に「バア「リラ」」。映画ではドアに「BAR LILA」と書いてある。

BLACK&WHITE【ぶらっくあんどほわいと】(映像) スコッチのブランド名。リラの棚に販促用の白と黒の犬の置物がある。『彼岸花』、『秋日和』の項参照。

南京豆【なんきんまめ】(映像) リラのカウンターで磯村がウイスキーを傾けつまんでいる。『風の中の牝鷄』、『お

茶漬の味』、『東京物語』、『彼岸花』、『お早よう』、『浮草』の項参照。

**カナダドライ**【かなだどらい】(映像) 『秋刀魚の味』、『秋日和』の項参照。映画公開時の販売元は国際飲料(現・サッポロ飲料)。「秋刀魚の味」の項では「サッポロ飲料」と記したが、「国際飲料(現・サッポロ飲料)」と訂正する。バーリラのカウンター内にある。

**MACNISH**【まくにつしゅ】(映像) スコッチのブランド名。リラのカウンターに灰皿がある。

**ホワイトホース**【ほわいとほおす】(映像) スコッチのブランド名。リラの棚に白馬の販促用置物が置かれている。『彼岸花』、『秋刀魚の味』、『秋日和』の項参照。

**VAT69**【ヴあつとろくじゅうきゅう】(映像) リラの棚にあるスコッチのブランド名。『彼岸花』、『秋日和』の項参照。

**ハイライト**【はいらいと】(映像) 『秋刀魚の味』の項参照。日本専売公社(現・日本たばこ産業(JT))が一九六〇年六月二〇日から発売した日本最初のロングサイズ煙草。フィルター付き。高度経済成長期を代表するブランドとなる。いこいに変わって国民の煙草となり、一九六九年二月一日にセブンスターが発売されるまでその地位を保つ。パッケージのデザインは和田誠。コバルトブルーの地に白いE.L.I.Eの文字を浮かび上げらせ、た斬新なものであった。バーリラのカウンターで北川弥之助(加藤大介)が吸っている。

**帝塚山**【てづかやま】 大阪市阿倍野区・住吉区にまたがる高級住宅地。名前は帝塚山古墳に由来する。

**有馬**【ありま】 有馬温泉。神戸市北区。

**阪大**【はんだい】 大阪大学。『彼岸花』の項参照。

六甲【ろっこう】 神戸市の六甲山あるいは阪急電鉄神戸本線六甲駅。

MARTINI【まるでいいに】(映像) イタリアの酒造会社。チンザノと並んでベルモットで有名。リラのテールに販促用の灰皿がある。

御堂筋【みどうすじ】(台詞・『全集』) 大阪市を南北に縦断する国道。欧陽菲菲のヒット曲「雨の御堂筋」(林

春生・詞／ベンチャーズ・曲、一九七一年)は「小糠雨降る御堂筋／心変わりな夜の雨」と歌い出される。

境川【さかいがわ】 大阪市西区の地名。

水原【みずはら】(『全集』) 『全集』に「名刺入れをしまいながら磯村、鼻をなげ、弥之助に水原式サインを送り

ながら——とある。水原は水原茂(円裕)。昭和のプロ野球選手・監督・解説者。読売巨人軍の監督時代、日本野球にプロックサイン、つまり身体の各部を触っていく組み合わせのサインを取り入れた。

(BAR) LILA【ばありら】 前出「リラ」の項参照。

Marlboro【まあるぼろ】(映像) フィリップモリス社が製造販売する煙草のブランド名。リラで磯村が吸う煙草。いこいからハイライトへ国民の嗜好が移行した時代。吸っている煙草によって財力も分かった。いわゆる洋モクであるマールボロを吸っている磯村の成金ぶりを表す。

ユーハイム【ゆうはいむ】(映像) 秋子がユーハイムのケーキを持ってアパートに戻る。それにしても秋子はケーキの箱を揺らしすぎである。『彼岸花』、『秋日和』の項参照。

DIA【だいいあ】(映像) 不詳。小早川紀子(司葉子)に勉強を教わっている甥・稔のズボンのロゴ。

吹田【すいた】 大阪府吹田市。一九四〇年四月一日、大阪府三島郡吹田町など四町村が合併し、吹田市誕生。紀

子がいう「吹田のビール会社」はアサヒビール。

九曜紋【くようもん】（映像） 小早川家の事務所玄関および家中のガラスに紋が入っている。また、外に広げてある和傘にも。さらに、長持ちや喪服にも。

岡伝【おかでん】 蔵元の名。

桂正宗【かつらまさむね】 一五四〇年創業の酒千蔵野しゅせんくら（映画公開時は千野多右エ門酒造）（長野県長野市川中島町今井三六八一）が製造販売する清酒ブランド。

浪【なみ】（映像） 万兵衛が使っている団扇の文字。万兵衛は佐々木つね（浪花千栄子）の元に通っているのだから、これは粋な遊びである。のちに小早川久夫（小林桂樹）が、さらに万兵衛が倒れた床では秋子が使っている。小津は『東京物語』でも団扇に高峰秀子を登場させるという遊びを行っていた。

月の桂【つきのかつら】（映像） 一六七五年創業の増田徳兵衛商店（京都市伏見区下鳥羽長田町二四）が製造販売する清酒のブランド名。小早川家の茶の間に曆がある。のちに曆は事務所にも。事務所には木綿の袋もある。また、小早川久夫（小林桂樹）が前掛けをしている。『全日記小津安二郎』一九六一年五月二十六日（金）の項に「伏見の月の桂にゆく 伏見をいろいろ見る」とある。

ニュー大阪【にゅうおおさか】 紀子の見合いの場所。

日本勧業銀行【にほんかんぎようぎんこう】（映像） 大阪へ移る空ショット。一八九七年に設立された特殊銀行。

第一勧業銀行を経て、現在はみずほ銀行となっている。

DAIWABANK【だいわばんく】（映像） 大阪へ移る空ショット。大和銀行。かつてあった都市銀行。現在

はりそな銀行となっている。

**大阪城**【おおさかじょう】(映像・『全集』) 大阪へ移る空ショット。『東京物語』の項参照。

**Quink**【くいんく】(映像) パーカーが製造販売するインク。「三和商事」(『全集』)にある。のちに紀子の机の上にも。『秋日和』の項参照。

**biflux**【ばいふらつくす】(映像) イタリアのインクか。画面左手、紀子の左側の机のタイプライターの手前にインクの黄色い箱。「bi」は赤、「flux」は青文字。ほかに「Aurora」「inchiostru stilografico」とも印刷されている。続けて、中西多佳子(白川由美)の左手にハート形のインク瓶が置かれている。

**札幌**【さっぽろ】 北海道札幌市。一九二二年八月一日市制施行。

**「雪山賛歌」**【ゆきやまさなか】 三和商事から「雪山賛歌」の歌声で送別会の場面へ変わる。アメリカ民謡。西堀栄三郎・詞。「雪よ岩よわれらが宿り／俺たちや街には住めないからに／俺たちや街には住めないからに。雲のまにまにきらきら光る／明日は登ろうよあの頂に／明日は登ろうよあの頂へ」。しばらくおいて「荒れて狂うは吹雪か雪崩／俺たちやそんなもの恐れはせぬぞ／俺たちやそんなもの恐れはせぬぞ。山よさよならご機嫌よろしゅう／また来る時にも笑っておくれ」。

**伊吹クラブ**【いぶきくらぶ】(『全集』) 札幌へ転勤する寺本忠(宝田明)の送別会場に「伊吹クラブ」会場の札——と『全集』にあるが、映像にはない。

**コココーラ**【こかこおら】(映像) 『晩春』、『麦秋』、『秋日和』の項参照。寺本の送別会場の外に赤い容器(?)と丸い琺瑯看板がある。会場にも瓶がある。

Chapagne【シャンパン・シャンぱあにゅ】(映像) フランスのシャンパーニュ地方特産の発泡性ワイン。寺本の送別会場の外に箱がある。

TABASCO【たばすこ】(映像) タバスコ。アメリカのマキルヘニー社の辛味調味料。寺本の送別会場のテーブルの上にある。『秋日和』の項参照。

バイリースオレンジ【ばやりいすおれんじ】(映像) 寺本の送別会場のテーブルの上にある。のちに小早川家の茶の間にも。『秋日和』の項参照。

Bireley's【ばやりいす】(映像) 寺本の送別会場のテーブルの上に灰皿がある。のちに祇園の氷屋にも。『彼岸花』の項参照。

キリンビール【きりんびいる】(映像) 寺本の送別会場のテーブルの上にはラガー大瓶がある。のちに嵐山の料亭での法事の席、リラのカウンターにも。『早春』、『東京暮色』、『お早よう』の項参照。

伊吹山【いぶきやま】 滋賀県・岐阜県の県境に位置する。一三七七メートル。

かくとだにえやは伊吹のさしも草さしもしらじら燃ゆる思ひを【かくとだにえやはいぶきのさしもぐささしもしらじらもゆるおもいを】 藤原実方の和歌。『後拾遺集』収録。「百人一首」に採られる。『全集』では「女A」「かくとだにや」/多佳子「えやハ伊吹のさしもぐさ」/女B「さしもしらじな燃ゆる思ひをか」。意は、灸に使う伊吹山のさしも草のようにあなたへの思いに焦がれている私の気持ちをあなたはご存じあるまい、こんなにもとさえいえないのだから。遠くへ行ってしまう寺本への仲間の冗談ではあるが、紀子と寺本の淡い恋を仲間たちは気づいているのかもしれない。

チャイナサロン夜来香【ちやいなさろんいえらいしやん】(映像) 十三駅ホームから見えるネオンサイン。

十三駅【じゅうそうえき】(映像) 『全集』では「郊外の小駅のホーム」。阪急電鉄の駅。京都本線、神戸本線、

宝塚本線が乗り入れており、梅田・京都・神戸間の移動、あるいは梅田・京都から宝塚へ行く時には必ずこの駅を通らねばならない。『全日記小津安二郎』一九六一年八月二十二日(火)の項に「夜十三駅のロケーション夜明し」とある。

協和銀行【きょうわぎんこう】(映像) 『東京暮色』の項参照。紀子と寺本が語らう十三駅のホームに「協和\*  
十三\*」の看板がある。

珈琲は北のアメリカン【こおひいはきたのあめりかん】(映像) 十三駅ホームの看板。

三菱銀行【みつびしぎんこう】(映像) 一九一九年設立の都市銀行。東京三菱銀行を経て現在は三菱東京UFJ銀行。紀子と寺本が語らう十三駅のホームに看板がある。

明光証券【めいこうしょうけん】(映像) 一九四八年に設立された証券会社。明光ナショナル証券を経て、現在はSMBCフレンド証券。紀子と寺本が語らう十三駅のホームに看板がある。「あなたの証券 明光証\* 本社大阪\* \* \* 十三営業所 十三・富士銀行北トナリ」。

富士銀行【ふじぎんこう】(映像) 前項看板中の文字。一八八〇年創業の都市銀行。現在のみずほコーポレート銀行。

安田信託銀行【やすだしんたくぎんこう】(映像) 十三駅ホームの看板。一九二五年に設立された信託銀行。現在のみずほ信託銀行。「貯蓄の王様貸付信託安田信託銀行大阪支店神戸支店」。

**十三信用金庫**【じゅうそうしんようきんこ】(映像) 十三駅ホームの看板。一九二五年設立の信用金庫。

**淡路**【あわじ】(駅構内放送) ここでは阪急電鉄淡路駅。十三駅で聞こえる駅構内放送。

**茨木市**【いばらきし】(駅構内放送) ここでは阪急電鉄茨木市駅。十三駅で聞こえる構内放送。

**白雪**【しらゆき】(映像) 一五五〇年創業の小西酒造(兵庫県伊丹市中央三一五―一八)が醸造販売する清酒のブ

ランド名。小早川家事務所に菰樽がある。丸山六太郎(藤木悠)が前掛けをしている。のちに佐々木(別項)

に一升瓶がある。『全日記小津安二郎』一九六一年六月十四日(水)の項に「ロケハン 伊丹 白雪 大手柄」

とある。小津は小早川家の場所として伏見や西灘をロケハンし、伊丹をおおいに気に入った。日記の同年八月

七日(月)には「第八日/通済夫妻 小西白雪未亡人とセット見学」とあり、宝塚の撮影所に菅原通済夫妻と

ともに小西酒造の未亡人が見学を訪れたことが分かる。

**さくらカラーインキ**【さくらからあいんき】(映像) 一九五九年にサクラクレパス(映画公開時はクレパス本舗

桜商会、一九二二年創業)が発売した油性マーカー。小早川家の事務所に赤と青の二色がある。

**東寺**【とうじ】(映像・『全集』)『彼岸花』の項参照。京都を表す空ショット。画面上手に東寺と並立するテレビ

アンテナを配してしまうのがいかにも小津安二郎らしい軽み。

**東山**【ひがしやま】(映像・『全集』)『晩春』、『彼岸花』の項参照。京都を表す空ショット。

**祇園**【ぎおん】(映像・台詞)『彼岸花』の項参照。

**富翁**【とみおう】(映像) 京都伏見の蔵元・北川本家(一六五七年創業、一九三六年設立)が製造する日本酒の

ブランド。電信柱に「清酒富翁トミ\*」のブリキ看板。

長木【ながき】（映像） 祇園にある看板。

ぎおん質舗【ぎおんしちほ】（映像） 祇園にある看板。

ショートピース【しょおとびいす】（映像・台詞） 『彼岸花』、『お早よう』、『秋刀魚の味』の項参照。祇園の水屋

で丸山六太郎（藤木悠）が万兵衛に渡す煙草。

佐々木【ささき】（『全集』・映像） 『彼岸花』の項参照。『彼岸花』の佐々木初、『小早川家の秋』の佐々木つね、

演ずるのはともに浪花千栄子。

中西鳴吉【なかにしなるきち】（映像） 佐々木つねが使う団扇の文字。不詳。祇園の芸妓か。

揚羽蝶紋【あげはちようもん】（映像） 平家の紋。織田信長も木瓜紋とともに使用した。佐々木つねが使う団扇

の表に朱色の大きな揚羽蝶紋が印刷されている。信長は池田恒興に揚羽蝶紋の使用を許し、以来池田家の紋所

となった。小早川秀秋は関ヶ原の戦いの後、岡山藩主となっていたが、その死によって小早川家は廃絶。変わっ

て岡山藩主となったのが、池田恒興の孫に当たる池田忠継である。備前池田家は備前蝶紋とはいえ、『小早川家

の秋』で小早川万兵衛の死を看取るつねが揚羽蝶紋の団扇を使っているのは偶然と思えない。

向日町【むこうまち】 JR西日本（映画公開時は国鉄）東海道本線向日町駅。桂川駅と長岡京駅の間。京都向日

町競輪場（一九五〇年開設。映画公開時は向日町競輪場）の最寄り駅。

「水の流れと人の身は」【みずのながれとひとのみは】 『浮草』の項参照。

宇治【うじ】 京都府宇治市。一九五一年三月一日、京都府久世郡宇治町など五町村の合併により、宇治市誕生。

平等院がある。

花やしき【はなやしき】『全集』は「花屋敷」。花やしき浮舟園。京都府宇治市の旅館。

ヒガシマル【ひがしまる】(映像) ヒガシマル醤油(兵庫県たつの市(映画公開時は龍野市)。映画公開時は龍野醤油、天正年間創業、一九四二年設立)が製造販売する醤油のブランド名。うすくち醤油で有名。佐々木(別項)の中に一升瓶入りの木箱がある。先に祇園の水屋にも「ヒガシ」とまで読める木箱があった。

「南国土佐を後にして」【なんごくときをあとにして】(口笛)『浮草』の項参照。佐々木百合子のボーイフレンド・ジョージが口笛を吹いて待っている。

米人【べいじん】(『全集』) アメリカ人。『全集』に「米人のジョージが顔を出して呼ぶ」とある。

アメリカ【あめりか】 アメリカ合衆国。

神戸【こうべ】 兵庫県神戸市。一八八九年四月市制施行。

「とめてはみたが」【とめてはみたが】 端歌。「止めてはみたがきかぬ気の帰りたいなら帰りゃんせ」と万兵衛がうたう。のちに万兵衛は便所で放屁して「空はおぼろに」とも。

ミナミ【みなみ】『全集』は「南」。大阪市の繁華街。

伏見増田屋【ふしみますだや】(映像) 「月の桂」(別項)の蔵元。小早川久夫のしている月の桂の前掛けに文字がある。

京都【きょうと】『晩春』、『宗方姉妹』の項参照。

嵐山【あらしやま】 京都市の観光地。

千草画廊【ちぐさがろう】(映像・『全集』) 小早川秋子が勤める画廊。東山魁夷、梅原龍三郎などの絵が掛かって

いる。

日展【「についてん】(映像) 千草画廊にポスターが貼ってある。『秋日和』の項参照。

渡月橋【とげつきょう】(映像) 京都市の観光地・嵐山にある橋。川の正式名称は桂川であるが、橋の上流を保

津川、下流を桂川と通称する。

七三桐紋【しちさんきりもん】(映像) 「料亭」(『全集』)の欄干、ふすま、屏風に見られる。

苔のむすまで【こけのむすまで】「君が代」の歌詞の一部。「料亭」(『全集』)での小早川久夫(小林桂樹)の台詞に出る。

保津川【ほづがわ】(映像・『全集』) 桂川のうち、京都府亀岡市保津町から京都市の嵐山に至る流域の通称。川岸

に小早川秋子と紀子が躍って話をしている。

保津川下り【ほづがわくだり】(映像) 保津川を下る遊覧船。

中之島【なかのしま】 大阪市北区のビジネス街。堂島川と土佐堀川に挟まれた中州。

キリンレモン【きりんれもん】(映像) 嵐山の法事を終えた夜、小早川家の茶の間にバヤリースオレンジの瓶と

キリンレモンの瓶がある。『お早よう』の項参照。

岐阜提灯【ぎふちようちん】(映像) 小早川家の茶の間に下がっている。『浮草』の項参照。

AICHI-TOKEI【あいちとけい】(映像) 平山医院の時計。愛知時計電機株式会社。現在は水道メーター、

ガスメーターのトップシエアを誇る。

名古屋【なごや】『晩春』、『早春』、『東京暮色』、『彼岸花』の項参照。

缶ピース【かんぴいす】（映像）『彼岸花』、『お早よう』、『秋日和』の項参照。小早川家内「月の桂」（別項）の曆の下にある。

HENNESSY【へねしい】（映像）コニヤックのブランド。小早川紀子の机の上にある。『秋日和』の項参照。連珠三つ巴紋【れんじゅみつどもえもん】（映像）『浮草』の項参照。秋子が立つ小早川家二階の紀子の部屋の外に軒丸瓦が見える。

阪急【はんきゅう】ここでは阪急百貨店本店（大阪市北区）。

西大寺道【さいだいじみち】（映像）西大寺への道標。西大寺は奈良市にある真言律宗の総本山。『全集』は「東大寺の道標」。

奈良競輪場【ならけいりんじょう】（映像）一九五〇年開設。奈良県奈良市秋篠町九八。

トワイン【とわいん】（映像）道頓堀のネオンサイン。「赤玉ポートワイン」だろう。別面には「ウイスキー」とも。『お早よう』、『秋日和』の「赤玉ポートワイン」の項参照。

白浜【しらはま】（映像）和歌山県西牟婁郡白浜町、あるいは南紀白浜温泉（白浜温泉）。道頓堀のネオンサインに「白浜桃の井案内所」とある。

桃の井【もものい】（映像）和歌山県の南紀白浜温泉にかつてあった観光旅館。道頓堀のネオンサインに「白浜桃の井案内所」とある。

MJB【えむじえいびい】（映像）『彼岸花』、『お早よう』、『秋刀魚の味』、『浮草』、『秋日和』の項参照。リラのカウンター内に緑の缶がある。

木津川【きづがわ】(映像) 『全日記小津安二郎』一九六一年九月十日(日)の項に「七時ロケ出発 木津川玉水橋上流の流橋 火葬場の帰り 鳥の情景」という記述がある。

枚方市立火葬場?【ひらかたしりつかそうじょう】(映像) 大阪府枚方市小倉東町三八一三。『全日記小津安二郎』一九六一年九月一日(金)に「山田村の火葬場の煙突をとりにゆく」との記述がある。大阪府北河内郡山田村は一九三八年二月三日、枚方町に吸収合併されたが、山田の名は小学校・中学校・神社・池に残っている。あるいは当時の三重県阿山郡大山田村(現在は伊賀市)の寺田火葬場(伊賀市寺田七八五―四)、下郡火葬場(伊賀市下郡六一四)とも考えられる。前者は服部川、後者は木津川に近い。

いこい【いこい】(映像) 火葬場で小早川久夫が吸っている。『浮草』、『秋日和』の項参照。

原田平次【はらだへいじ】(映像) 墓石に刻まれた名。「昭和十八年十二月建之」。

太閤【たいこう】 豊臣秀吉。

浪速【なにわ】 大阪市の古称。

東京【とうきょう】 『長屋紳士録』、『風の中の牝鷄』、『晩春』、『宗方姉妹』、『麦秋』、『お茶漬の味』、『東京物語』、『東京暮色』、『彼岸花』、『お早よう』、『浮草』の項参照。

上津屋橋【こうづやばし】(映像) 通称流れ橋。木津川にかかる木橋。京都府久世郡久御山町と八幡市を結んでゐる。

(本稿は平成二二年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C) 課題番号20520149)による研究

の一部である)